令和８年度
「第３回豊後大野市地域公共交通会議」
「第３回豊後大野市地域公共交通活性化協議会」 議事要旨

日時：令和８年 10 月 13 日（火）13:30～
場所：豊後大野市役所４階 正庁ホール



## １．開会

事務局：事務局より、委員総数 20 名のうち 17 名の出席（代理及びオンライン出席を含む）を確認し、規定に基づき会議が成立している旨を報告した。

## ２．会長あいさつ

事務局：次第に沿って会議を進める。ここからは白井副市長に会議の進行をお願いする。

議長：本日はお忙しい中お集まりいただき感謝申し上げる。本日の会議ではコミュニティバス等の利用状況、コミュニティバスの運行内容変更及び次期地域公共交通計画の策定について、各委員の立場から意見を求めたい旨の挨拶があった。

## ３．議題

### ３．１　報告案件

**①コミュニティバス及びあいのりタクシー、コミタクーの利用状況について**

事務局：資料に基づき利用状況を説明した。

【大野竹田バス(株)　取締役社長】

濱本委員：一般路線バスの収入は全体で前年比 103.5%であったが、市内一般路線は 93.2%と減少した。一方、臼杵市と豊後大野市を結ぶ臼三線は 125.7%で、全体として微増している。土日祝日は技能実習生の買物利用や一部のインバウンド来訪者利用がみられ、平日より利用が伸びている路線もある。ゾーン制運賃について、改めて周知し利用促進につなげたい。一方で既存住民は自家用車利用が定着しており公共交通への乗り換えは難しいと理解している。

議長：インバウンド・技能実習生の休日利用全体に占める割合は分かるか。

濱本委員：元々利用客が少ない中ではあるが、2～3 割程度ではないかと考えている。

議長：インバウンドの利用客は増やしていけると良いと考えている。

【社会福祉協議会　福祉担当】

後藤委員：コミタクは千歳・清川ともに利用者が増加している。また、運行区域の拡大により、清川町から緒方町中心部への移動等にも利用できるようになり、高齢者のサロンや公民館活動への参加にもつながっている。スマートフォン教室を行政等と連携して実施しており、予約方法の普及も利用増の要因と考えられる。地域を支える移動手段として、今後も推進してほしい。

議長：社会福祉協議会としてスマホ教室の開催を担っていただき感謝申し上げる。

【豊後大野タクシー協会　会長】

日坂委員：コミタクはタクシー協会 4 社のうちの 2 社で運営を担っている。コミタクの利用者は増えているが、事業として独立採算が成り立つ水準ではなく、現状はタクシー事業者が空き時間を活用して運行しているのが実態である。電話予約は各社の負担が大きいため、スマートフォン予約の利用方法を幅広く周知してほしい。持続可能性と事業者の経営を踏まえた検討が必要である。

議長：市として力を入れて取り組んでいく。

**②コミュニティバス運行内容の変更について**

事務局：資料に基づき運行内容を説明した。

議長：議事について質疑をお受けする。ご指摘のある方、挙手をお願いする。

一同：なし

## ３．２　協議案件

**①豊後大野市地域公共交通計画の策定について**

事 務 局：資料に基づき策定状況を説明した。

議長：議事について質疑をお受けする。何かご指摘のある方、挙手をお願いする。

【社会福祉協議会　福祉担当】

後藤委員：公共交通は移動手段の問題にとどまらず、高齢化や孤立への対応、地域での暮らしを支える重要な基盤である。交通政策だけでなく、福祉や生活分野とも連携し、高齢者など移動に困難を抱える人の暮らしを支える視点を計画に盛り込んでほしい。

【大分運輸支局　主席運輸企画専門官】

亀井委員：利便性の向上だけでなく、安易に自家用有償旅客運送に頼らず、交通事業者が事業を継続できることも重要である。公共交通サービスが地域からなくならないよう、行政サービスと民間事業のバランス、必要性、持続可能性について関係者が共通認識を持って検討すべきである。

事務局：本市では交通事業者の車両を活用するコミタクのほか、市有車によるコミュニティバス等も運行している。運転者確保が難しい中、多様な担い手の参加が必要であり、当市では自家用有償旅客運送を活用している。今後も交通事業者と連携し、市民の移動を支える持続可能な公共交通の形を検討したい。県計画との整合や福祉部門との連携も踏まえ、皆様の意見を頂戴しながらより良い公共交通を作っていきたい。

議長：第 1 号議案について承認いただける方は拍手をお願いする。

一　　同：過半数拍手。

議長：過半数の拍手により、計画策定の方向性について承認された。

## ４．その他

・次回（第 4 回）協議会は、令和 8 年 12 月 17 日（木）13 時 30 分から 1 時間程度の開催を予定している。主な内容は、地域公共交通計画の進捗状況及びコミタクの新エリアでの実証運行にかかる法手続きについてである。

・「空飛ぶクルマ」や「ヒューマノイド」に関する大分県主催のイベントについて案内があった。12 月 5 日に大分駅前広場、12 月 6 日に豊後大野市大野町の大分県央飛行場での開催が予定されている。

## ５．閉会

令和８年度　第３回　豊後大野市地域公共交通会議
豊後大野市地域公共交通活性化協議会　委員出席者名簿

（以下敬称略、順不同）

| | 氏　名 | 所　属　等 | 出　欠 | 代理出席者 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 職名 | 氏名 |
| 会長 | 白井　将明 | 行政機関（市）<br>豊後大野市副市長 | ○ | | |
| 副会長 | 佐藤　英介 | 住民代表<br>豊後大野市自治会連合会　会長 | 欠 | | |
| 委　員 | 麻生　春彦 | 地元経済団体<br>豊後大野市商工会　副会長 | ○ | | |
| 委　員 | 松垣　安城 | 大分県企画振興部　交通政策局<br>地域交通・物流対策室　室長 | ○ | | |
| 委　員 | 高村　聡 | 行政機関（県）<br>大分県豊後大野土木事務所長 | 代理 | 企画調査課長 | 川野　秀信 |
| 委　員 | 牧野　理 | 行政機関（警察）<br>大分県豊後大野警察署地域交通課長 | ○ | | |
| 委　員 | 川底　正剛 | 鉄道事業者　JR九州(株)<br>大分支社副支社長 | ○ | | |
| 委　員 | 望月　郁男 | 一般旅客自動車運送事業者（組織する団体）<br>(一社)大分県バス協会専務理事 | 欠 | | |
| 委　員 | 江熊　春彦 | 一般旅客自動車運送事業者（組織する団体）<br>(一社)大分県タクシー協会　専務理事 | 代理 | 事務局長 | 山本　真司 |
| 委　員 | 濱本　真治 | 一般旅客自動車運送事業者<br>大野竹田バス(株)代表取締役社長 | ○ | | |
| 委　員 | 日坂　泰弘 | 一般旅客自動車運送事業者<br>豊後大野市タクシー協会　会長 | ○ | | |
| 委　員 | 穴南　則昭 | 運転手が組織する団体<br>大野竹田バス乗務員代表 | 欠 | | |
| 委　員 | 渡海　一成 | 運転手が組織する団体<br>豊後大野市タクシー協会乗務員代表 | 欠 | | |
| 委　員 | 大井　尚司 | 学識経験者<br>大分大学経済学部門教授 | ○<br>(WEB) | | |
| 委　員 | 藤木　淳史 | 九州運輸局<br>大分運輸支局　支局長 | 代理 | 首席運輸企画専門官 | 亀井　将志 |
| 委　員 | 麻生　和子 | 行政機関（市）福祉有償運送担当<br>豊後大野市社会福祉課長 | ○ | | |
| 委　員 | 曲　賢治 | 行政機関（市）高齢者福祉担当<br>豊後大野市高齢者福祉課長 | ○ | | |
| 委　員 | 小代　幸輝 | 行政機関（市）市道管理者<br>豊後大野市建設課長 | ○ | | |
| 委　員 | 渡辺　竜也 | 行政機関（市）スクールバス担当<br>豊後大野市学校教育課長 | ○ | | |
| 委　員 | 後藤　政美 | 社会福祉協議会　福祉担当<br>豊後大野市社会福祉協議会　会長 | ○ | | |

| | | |
|---|---|---|
| 事務局 | 古庄　英之 | 豊後大野市まちづくり推進課　課長 |
| 事務局 | 三代　征二 | 豊後大野市まちづくり推進課地域振興係　係長 |
| 事務局 | 太田　雅子 | 豊後大野市まちづくり推進課地域振興係　主任 |